

令和2年2月15日(土)羽田地域力推進センターで「第23回地域を語る会」が開催されました。今回は京浜急行電鉄(株)鉄道統括部、渡辺正行氏による御講演でした。講演テーマは「空港線が歩んだ道のりと将来」というテーマで、2部構成で御講演をいただきました。第1部では「空港線のこれまでの歩みと変遷」また、第2部では「東京オリンピック・パラリンピックに伴う空港線の動きと期待」というテーマで

さしていただきました。講演の内容として、空港線の開業した1902年から今日(2020年)までの118年間を駆け足で振り返る(第1部)とともに、京浜急行電鉄(株)様の現在の取り組みや将来の展望(第2部)についてのお話です。京急電鉄の前身となる大東電氣鉄道(株)が明治31年2月に創立、翌年1月に六郷橋(大師間(約2km))が開通

羽田地区の皆さま、こんにちは。令和2年1月に東京国際空港長に就任した生野です。ご挨拶が遅くなり大変恐縮です。また皆様には、日頃から羽田空港の運営に多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本来であれば地域の皆様とお目にかかる機会があるのですが、楽しみにしていた羽田神社例大祭など羽田地区での行事が中止になるなど、新型コロナウイルス感染症のため機会がなくなってしまうことが残念です。状況が許すようになりましたら、皆様と交流させていただきたいと思っております。

国際線は24か国・地域の55空港に1日最大で約170便が就航する大きなネットワークを持つ空港となりました。実際の運航便数は、新型コロナウイルス感染症の影響で減っていますが、首都圏と地方、そして世界を結ぶ日本の玄関口であることに変わりありません。



東京国際空港長 生野 優

### 空港長着任ご挨拶と羽田空港の展望

空港の機能強化のために新飛行経路の運用を開始させていただきます。国内線は49空港に1日約500便が、

影響で減っていますが、首都圏と地方、そして世界を結ぶ日本の玄関口であることに変わりありません。空港では、国際線施設の拡充など東京オリンピック・パラリンピックやその先に向けて、多くのお客様をお迎えできるように準備を整えています。また空港周辺でも、令和2年7月3日に羽田イノベーションセンターが開業し、今春には羽田エアポートガーデンが開業予定となっているなど、まちづくりが進んでいて、より充実したおもてなしができるようになってきていることを実感しています。

これからも、羽田地区と空港がともに発展していけるよう地域の皆様とのつながりを大切にし、そして何より安全・安心な空港であり続けるよう努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(東京国際空港長 生野 優)

### 羽田空港トリビア48

#### ◆頼りになるクルマ達(その1)◆

今回からシリーズで「できればお世話になりたくないが、空港に無くてはならない頼りになるクルマ達」について紹介していきます。

まず初回は「除雪車」です。北海道や東北など北国空港ならともかく、ここ東京で除雪車?と思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、ここ羽田でも過去に降雪による欠航や遅延などで、利用者にご不便をお掛けしたことは少なからず発生しています。

除雪車はこのような降雪による空港運用への影響を出来る限り少なくするために頼りになる特別なクルマの一つなのです。

空港の除雪車は、ただの除雪車ではありません、そのサイズも性能も道路用とはケタ違いです。主な種類は3種類(ロータリ、スイバ、ブラウ)で、総勢21台保有しています。それらを目的に合わせて使い分けますが、特にこの中でもロータリ除雪車(左下)は、関東特有の重く湿りっ気の多い雪を大量に処理できるよう特別に設計されています。これらのクルマをフル活用し、主要な滑走路や誘導路の除雪を約90分で終わることを目標として頑張っています。



国土交通省東京空港事務所



## 地域を語る会

～京浜急行電鉄空港線のこれまでの歩みと将来への展望～



～当日の様子～



令和2年2月15日(土)羽田地域力推進センターで「第23回地域を語る会」が開催されました。今回は京浜急行電鉄(株)鉄道統括部、渡辺正行氏による御講演でした。講演テーマは「空港線が歩んだ道のりと将来」というテーマで、2部構成で御講演をいただきました。第1部では「空港線のこれまでの歩みと変遷」また、第2部では「東京オリンピック・パラリンピックに伴う空港線の動きと期待」というテーマで

しました。同年4月には社名を京浜電氣鉄道に改称されました。私たちが日々利用しています羽田空港線(旧穴守線)の開業は明治35年3月に着手し6月28日に営業開始されたというお話でした。空港線に

みなどみらいに移されました。令和2年1月21日横浜本社一階に「京急ミュージアム」をオープンされ、その中には昭和初期から活躍した京急車両の展示もあり「本物」を見て、触れて、楽しむ京急グループの魅力が凝縮したミュージアムのことでした。短い時間ではありましたが大変内容の濃い講演会でした。

(秋中町会 津田 尚孝)

#### ◆令和元年度秋中小学校 防災活動訓練実施

東日本大震災から間もなく10年を迎えようとしています。令和2年2月8日(土)に秋中小学校3町会(西町・大鳥居・大鳥居中央)町会の合同防災訓練を開催しました。今回は、秋中小学校5年生、6年生の生徒に協力を頂き、参加者155名でいざ災害が起きた想定での訓練を行いました。理科室に本部を置き、体育館にはシートを敷き、避難者の受け入れ体制の準備を行いました。4班に分かれて9時15分受付開始、9時30分開会式で始まり、その後児童達が避難者として体育館前で受付する際、情報班から避難



シートと毛布を用いての受け入れ訓練

(羽田西町町会)

者の状態を把握し、例えば怪我をしている、妊婦さん、外国の方、ベット連れ、車での避難など、どこに避難させるか、更に何丁目何番地で火災発生など本部に無線で連絡が絶えず入ってきましたが、過去に避難所運営ゲーム(HUG)を体験していたので、スムーズに対応できたと思います。